

発行所
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話(09894)5-4533
印刷
栄光堂印刷

町の世帯・人口	
(昭和57年9月末現在)	
世帯数	4,488世帯
人口	17,696人
男	8,984人
女	8,712人
9月の人口移動	
出生	23人
死亡	4人
転入	192人
転出	63人
婚姻	1件
離婚	2件

翁長、小波津に児童公園が 来年二月にお目見えします。

チビツ子の遊び場にと、翁長児童公園と小波津児童公園の地鎮祭がそれぞれ十月二十五日、二十九日であった。これらの児童公園は町内では七番目と八番目。地鎮祭は、いづれも午前十一時半から町役場、工事業者、地元などの関係者約三十名が参加して行われた。そのくわ入れ式はいづれも助役と工事責任者によって行われた。翁長児童公園は、字翁長四四五番地(デザイン住宅の北側、通称太田原)にあり、敷地が千三百平方メートル。総工費は、三千万円、竣工予定は、来年の二月十四日である。

小波津児童公園は、字小波津二二〇番地(小波津団地の南側、通称II西)にあり、十五区と十六区のはば中間に位置していることから地鎮祭にも両区の地元関係者が出席した。敷地は二千八百平方メートル、総工費二千八百九十万円、竣工予定は、来年の二月二十一日である。



▶翁長児童公園地鎮祭

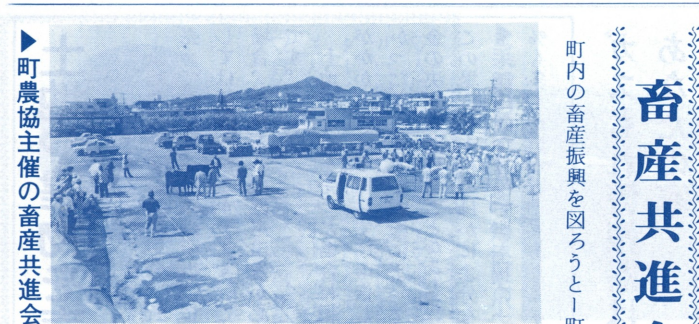


▶小波津児童公園地鎮祭



▲ススキの穂も満開し、冬近しの情景(棚原で撮影)

ススキ満開



▶町農協主催の畜産共進会

町内の畜産振興を図ろうと、町農協主催の昭和五十七年度町畜産共進会が十月十三日午前十時から旧中部製糖工場広場跡で行われた。畜産関係者はじめ町民など約二百人が詰めかけ、各部門の審査を見守り、賑わった。

この共進会は、従来、町主催であったが町農協の協力により今年からはじめて町農協が主催して行い、町と町畜産組合が後援する形となった。

尚、共進会の審査結果は次の通り。

△豚の部▽未経産豚一類 優等・小波津三郎、一等・神谷良子▽未経産豚二類 優等・野国昌敏、

小波津集落センター

来年二月竣工目ざし着工

地域のコミュニティ施設として小波津公民館近くの字小波津九〇番地(敷地II七三五平方メートル)に小波津集落センターが建設されることとなったが、その起工式が、十月二十五日午前十時から造成をほぼ終えた同敷地で行われた。地元小波津の小波津農村振興会の関係者はじめ工事関係者、町職員など約三十名が出席した。

同センターは、農業技術を修得するための研修会や学習会の場として利用されるほか、農家の生活改善のための学習会、敬老会などに利用する目的でつくられるものである。鉄筋コンクリート造り平屋三三五平方メートルに大会議室、小会議室、ステージ、料理講演室、管理室などが間取りされたもの。総工費はざっと五千百万円で、その三分の二が国県補助でその残りが地元負担となる。

農業者だけでなく、農外者を含めた新たなコミュニティ形成をはかる場としても地元から大きい期待が寄せられており、同センターの完成は、関係者から待ち望まれている。

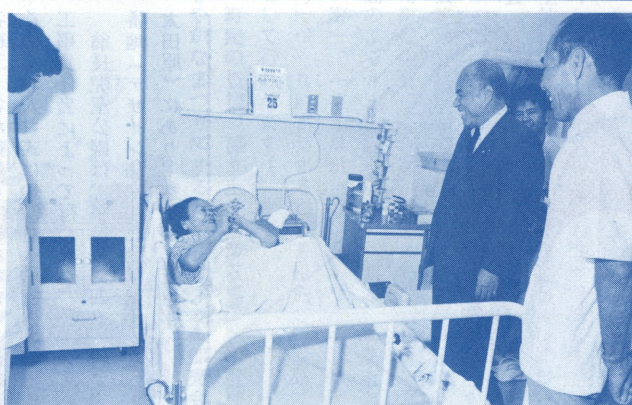
- ▶小波津集落センター起工式
- △牛の部▽未経産牛一類 優等・与那嶺幸太郎、一等・与那嶺幸幸▽未経産牛二類 優等・宮城正雄、一等・与那嶺幸幸、二等一席・翁長俊雄、二等二席・翁長太郎、二等三席・宮城安雄▽経産牛一類 優等・与那嶺善太郎、一等・宮城正雄、二等・稲福政文▽経産牛二類 優等・宮城正雄、一等・喜屋武栄光、二等・高原安三、▽肉用牛(三百キロ未満) 優等・与那嶺幸幸、一等・稲福政文、▽肉用牛(五百キロ以上) 一等・翁長太郎▽乳牛経産 一等・平良昌光、二等・外間武次▽乳牛未経産 一等・平良昌光、二等一席・外間武次、二等二席・沢砥徹
 - △副賞▽町長賞 壮令雄豚・野国昌敏、肉用牛経産二類・宮城正雄▽町議会賞 経産豚・泉川寛弘、肉用牛経産一類・与那嶺善太郎▽町農業委員会賞 若令雄豚・新里正雄、肉用牛(三百キロ未満)・与那嶺幸幸

秋の全国火災予防運動
11月26日～12月2日

秋の全国火災予防運動は11月26日～12月2日。

特別養護老人ホーム 守礼の里すでに開所

字小那覇二七五番地の西原温泉（大山朝常理事長）が今年の一月十二日から特別養護老人ホーム



▶町長、守礼の里の老人の方々を慰問

守礼の里（照屋敏夫所長）の建設を行っていたが、同所が六月二十五日に竣工完成し、九月二十四日から開所された。

敷地七、〇九六平方メートルに鉄筋コンクリート建平屋（二、四六五平方メートル）のモダンな建物ができた。全館冷暖房設備、ナイスコール、放送設備、最新の特殊浴槽、機能回復訓練設備、障害者用トイレなどがとりつけられ、常時介護を要する老人の方々の受け入れに万全を期している。収容定員は七〇名である。職員は寮母、寮夫、看護婦、調理員、介助員、事務職など合わせて三十一名。

町議会だより

九月二十一日から二十四日にかけて四日間の会期で昭和五十七年第四回町議会定例会が開かれた。提出された案件は、議案三件、認定三件、決議一件、陳情一件であり、案件は全てそれぞれ原案可決、認定、決議、採決された。

※議案
昭和五十七年度西原町一般会計補助予算について（原案可決）
同予算の歳入歳出にそれぞれ一億九〇三万三千円を追加し、同補正予算総額を四〇億五、八二二万一千円とした。

※西原町議会々議規定の一部を改正する規則について（原案可決）
今回の改正で議会運営が、本会差引額二、四〇七万四、二二五

中央公民館のテニスコートに照明灯つく

勤めている方にもテニスコートが利用できるようにと町教育委員会では、中央公民館のテニスコート場に照明灯の設置工事を今年の八月下旬頃から進めていたが、九月中旬に完了し、その点灯式が、九月二十九日午後七時から同コートで行われた。



町長はじめ教育長、助役や町内のテニス愛好家などの関係者約三十人が参加して点灯を見守った。取りつけられたものは、水銀灯（千ワット）の八機。点灯するとコート内の明るさは二百ルクスあり、正式コートの夜間照明を維持できるりっぱなものである。

中央公民館（電話一五一三六五七）では、夜間利用を希望される方に今年いっぱい無料開放する予定です。希望者は前もって公民館に申請して下さい。

月二十六日午後、宮平町長が守礼の里を訪れ、老人の方々を激励し親しい懇談を交わした。

新議員で初の臨時議会行う

議長に親泊輝武氏を選出

九月二十八日から三十日にかけて三日間の会期で昭和五十七年第五回町議会臨時議会が開かれた。提出された案件は、同意一件、選挙四件、選任二件であり、又今臨時議会は、改選された新議員による初議会であった。

※選挙
議長の選挙について

円（翌年度に繰越）
昭和五十六年度西原町水道事業会計予算について（認定）
現金歳入決算額三億四、二二六万七、八四四円、現金歳出決算額三億二、六六三万二、七六八円、現金歳入歳出差引残額一、五六三万五、〇七六円。

※決議
教科書検定に関する要請決議について（原案可決）

※陳情
坂田小学校用地拡張及び体育館改築にかかる陳情について（採択）

土地や建物を売った場合の心得

土地や建物を売った場合、その売って得た利益（譲渡所得）に対しては所得税がかかります。この場合、税務署への確定申告が必要で、売った土地や建物の代金のうち、その税金に充てることを心がける必要があります。

代金の全部使用はたしてから税金の心配をしないように、事前に納税の準備をいたしましょう。

ガスもれ警報器はあなたの家・財産を守ります

アパートなどの共同住宅、料理飲食店などは、ガスもれ警報器の取り付けが法令により義務づけられています。

ガスもれ事故は、大半が消費者の不注意によっておきており、そのほとんどはガスもれ警報器で防ぐことができます。



監査委員
稲福恭助



当選人（副議長）
城間光雄



当選人（議長）
親泊輝武

- ※同意
監査委員の選任について（同意）
西原町字上原二四五番地の二、稲福恭助氏が再任された。
- ※選任
議会のそれぞれの常任委員会の委員長、副委員長及び委員が次の通り選任された。（◎は委員長、△は副委員長）
- 総務常任委員会
◎翁長正吉、△新垣和男、城間光雄、稲福恭助、大嶺盛義、中山正徳、富春治
 - 建設産業常任委員会
◎宮平宗輔、△大城盛孝、崎原盛善、座波進、玉城守市、比嘉皓幸、新垣常夫
 - 財務厚生常任委員会
◎屋良朝光、△前里光信、上亀直一、新垣盛光、新川康之、稲福勝美、与那城長助

事業主の退職金制度 《小規模企業共済》

＜小規模企業共済制度＞は、国がつくった事業主の退職金制度です。事業主であるあなたが、第一線を退いたときなどに、法律で定められた共済金が支払われます。掛金は、全額所得控除となり、節税をしながら財産づくりのお役に立ちます。

この制度のくわしいことは、最寄りの商工会・商工会議所・中小企業団体中央会または金融機関へ。



ヤミタバコなくして
明るい街づくり！

県や市町村の財源をむしばむ
ヤミタバコは、やめましょう。

日本専売公社
ヤミの外国タバコには、その箱の側面に「WARNING」と書いてあります。
正規の外国タバコには、その箱の側面に日本語で「健康注意表示」があります。

はじめに

五区は、昭和四十六年にRBC開発株式会社（現在のリウホウ開発、浦添市字当山在）が「海が見え、見はらしがすばらしい高台に快適な住い」と開発を行ったRBC坂田ハイツで組織された行政区である。

幸地、翁長の両字にまたがる面積九・七四ヘクタール、二四九世帯、人口一、〇二四人の新興住宅団地である。南北に約四八〇メートル、東西に約四〇〇メートルと二番目に小さい区である。

昭和四十六年にRBC開発が神嘗原から太田原にかけての通称神嘗毛（カンヌミモ）の用地買収を終え、四十七年、その用地のゆるやかな傾斜をそのまま自然の形を利用してヒナ段造成が行われた。

普通は、ほとんどが平坦にし傾斜はつけないが、坂田ハイツの場合は特殊と云えよう。ハイツを大別するとA、B、C、Dの四地区があるが、A地区が昭和四十七年十二月に三十六棟、四十八年に

四十四棟が着工されたのを皮切りに、B地区が五十年から、C地区、D地区が五十一年から建設されはじめ、それぞれ、年次的に住宅開発が行われた。

住民登録で見るとハイツへの転入は、四十九年三十六世帯、五十年二十世帯、五十一年六十七世帯、五十二年二十一世帯、五十三年三十八世帯、五十四年二十二世帯、五十五年十八世帯、五十六年十七世帯、五十七年八世帯と四十九年から年々増え続けた。各地区の住宅建設もほとんど終えたが現在、四戸の住宅が建設されている。また、四十戸分の用地が確保されていると云われ、将来はさらに世帯数が増える可能性もある。

四十八年のオイルショックの後、会社側の都合により、E地区建設が断念され、当初の計画より規模が縮小された。

五十五年には坂田ハイツ自治会が結成され、組織体系からより一歩なものができ上がり、新しいコミュニティづくりがスタートした。親睦を兼ねた坂田まつり、子どもから老人までが参加して行われる

坂田ハイツ運動会、児童生徒を対象とした学事奨励会などの三大行事を行い、「ふれあう心でのびゆく坂田」の合言葉の下に地域融和を図られている。何しろ北海道から鹿児島県までの県外出身者をはじめ県内でも国頭から宮古、八重山のいたるところの出身者がいるのでコミュニティづくりは「まず地域へのふれあいを深めること」を主眼に置かれている。



▲昭和47年、RBC坂田ハイツの造成工事。



▲現在の五区坂田ハイツの全景。

あらがまち (六)

五区＝RBC坂田ハイツ

昔は、幸地城まで続いていた。この三差路から約二百メートル上り、ロイヤル美容室の手前を右折すると約三百五十メートルの一直線の広い道路がある。その通りがハイツのほぼ中心である。

その通りの中間に自治会事務所と広場があり、直進すると県道二九号線にぶつかりハイツの裏玄関である。右折すると棚原入口に、左折すると幸地に抜ける。沖縄三育小学校は五区の北側にある。

位置

五区は、本町の中央部に位置し、東側は六区、西側は一区に隣接し

職業は教師がトップ

五区は、新興住宅団地であるため、ほとんど血縁関係はなく、職業別に見るとおもしろい。教師四十世帯（約六十人）、マスコミ関係者約二十五世帯、官公庁関係公務員約二十世帯、電気技術者約二十世帯、実業家五・六世帯、医師二世帯、弁護士一世帯、パイロット一世帯である。中でも教師は群を抜いてトップである。その理

由は、琉球大学の移転なども微妙に関連していると受けとめられる。

今帰仁毛小

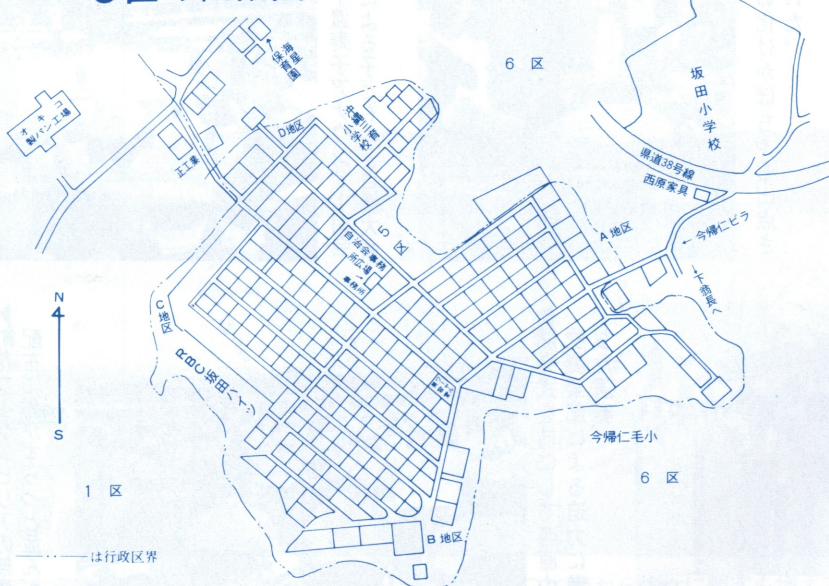
一、七〇〇年頃書かれた遺老説伝によると津記武多按司を滅ぼした幸地城の熱田子（ナチジンモ）を挙げた今帰仁按司の大軍が翁長村の北山に伏せていた熱田子の兵に皆殺しに合ったとある。以来そこは今帰仁毛小（ナチジンモ）と云われるようになった。

今帰仁毛小はちょうど坂田ハイツ南東部のA地区の切立ったところである。



▲手前の茂みが今帰仁毛小

5区の概観図



人達から聞いているがね。その時か、阿麻和利軍とのかは謎に包まれている。

神嘗毛

坂田ハイツの一帯は、地元翁長の人達から神嘗毛（カンヌミモ）と云われ、昔、浦添経塚から歩いてきたという伝説のあるところである。



自治会長 玉城 健一



事務担当者 玉得 博久

任者：玉得博久（渉外部長兼務）
老人クラブ会長：座喜味朝成
婦人会会長：下地洋子
子供会育成会長：手登根安一

明治二十九年の伝染病（フイチ）がはやった年に翁長村と幸地村が境界を分けるために神嘗毛の測量を行ったが、その測量にたずさわった方々が次々と亡くなった。それ以来、神嘗毛は、翁長村の人にとって神聖な場所（シジダカサヌトクル）として畏怖することを恐れられてきた。

戦前、神嘗毛には、屋号・神嘗稲福といって首里崎山から来た家が一つだけあったが、戦後は一戸も家はなく荒れるにまかせた原野であった。

燃えるゴミ、燃えないゴミは分別して出しましょう。



▲内間青年会による勇壮なエイサー、観客は周囲をとり囲み、参観した。まつりムードも一層盛り上がるった。



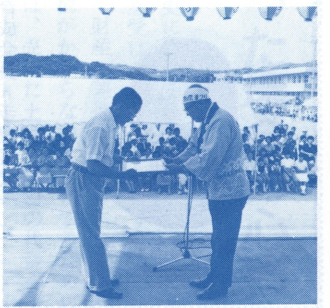
▲体育館では農産物、農産加工品、手工芸品、図画、書道、工作展示、写真展示会などが行われた。



▲町青年会による芝居「米をつくる家」が上演され好評を博した。



▶表彰式



▶町花ブーゲンビリアの無償配布に列がずらりと並んだ。



西原まつり賑わう

西原まつり実行委員会（宮平吉太郎委員長、町長）主催の第四回西原まつりは、十一月六日、七日、西原中学校のグラウンドと体育館で行われ、町内外から多数の参観客がありかつてない賑わいを見せた。

このまつりは、地域産業、教育、芸能、文化の振興、町民のふれあいを図り、郷土愛を育てようというもの。

六日は曇り天気だったが、七日は、からりと晴れわたり、すべての行事が予定通り行われた。

六日の開会式では、宮平実行委員長、親泊町議会議長からあいさつを受けた後に、平安助役から町民憲章の制定経過と発表が行われ、町民が憲章を守り、りっぱなまちづくりに協力されるよう呼びかけ

た。また、開会式を前にして九州吹奏楽コンクールで見事銀賞に輝いた西原中学校吹奏楽部による「町歌」、オーリーブの首飾り、など数曲のすばらしい演奏が一般に披露され、祭の幕開けにふさわしい迫力に満ちたものであった。

町歌の合唱は、本町のおかあさんコーラスによって吹奏楽部演奏の曲にのせて行われた。

開会式の後、苗木の無償配布（町木ガジュマル五百本、フリージア球根五百個）、西原中学校吹奏楽部による演奏、老人クラブ集団演技（踊り）、婦人会集団演技（踊り）、子どもエイサーなどが次々と行われた。

六時から町青年会による沖縄芝居「米をつくる家」が上演され、青年会の熱演に観客の笑いをさそ

うと共に惜しめない拍手の渦が巻き起った。シマウクシを目ざして活動されている町青年会にふさわしいすばらしい芝居であった。また、小波津の伝統芸能棒術も披露された。

その頃から観客が町内外から続々と詰めかけ、会場は約四千人で埋め尽くされた。

花火大会は、「西原まつり」の文字を刻んだ仕掛け花火や会場を横一直線に仕掛けられたナイヤガラ、打ち上げ花火百五十発があり、まつりムードを一層盛り上げた。

七時十五分から西山さとしさんの司会によるカラオケ大会が中央ヤグラで催され、ヤグラの周りを取り囲みヤンヤの歓声と拍手がわき上がり夜遅くまで賑わった。

一方、体育館では、農産物、農産加工品、手工芸品、老人クラブの作品、児童生徒の図画、工作、書道、花卉同好会の花卉、盆栽、町写真クラブの写真、町史関係の写真資料などが会場いっぱい展

示され丹精をこめた力作に参観者達は見入っていた。

七日（日）には、展示作品の入賞者の表彰式、町花ブーゲンビリアの苗木配布、町商工会婦人部の集団演技（踊り）、大宜味小太郎一行による芸能ショー（沖縄芝居「ハワイ行進曲」、踊り、寸劇、RBCの小波寿子アナウンサー司会による子どもど自慢大会、子どもエイサー、内間青年会による勇壮なエイサー、花火大会、婦人会、子ども会、老人クラブなどがそれぞれ音頭を取ってのおどりの夕べ（盆踊り）などが催された。

午後七時頃、内間青年会のエイサーが行われた時、まつりも最高潮に達し、約五千人の観客が会場に集った。両日で町内外から延べ約一万人余の観客が訪れ、最高に賑わった。

グラウンドでは、飲食関係やおもちや、輪投げゲーム、金魚すくいなどの出店のほか、町内事業所から自転車、オートバイ、花卉園

芸、写真、組立塀、陶器、青果、生活用品、衣服類などが出店され、それぞれの宣伝と商品の売り込みに懸命であった。今までのまつりと比較して町内事業所の参加が目立った。

まつりのフィナーレを飾り、おどりの夕べの後に中央ヤグラに町民が飛入りで踊るカチャーシー、閉会式（実行委員長のあいさつ）、「サヨナラ」の仕掛け花火、数発の打ち上げ花火が打ち上げられ、余韻を残しながら二年後の次期開催に期待を継ぐこととなった。



▶まつりの裏方さん



▶エイサーのチヨウゲナー（道化師）愛嬌たっぷり。



▶お化けかぼちゃも出点された。



▶おかあさんコーラスによって町歌合唱



▶開会式を前にして西原中吹奏楽部による迫力に満ちた演奏。

しめていますか心のカギと家のカギ。

第4回

西原まつり



▶小波津の棒術



▶まつりのフィナーレを飾る力チャシー。



▶子供会のリードでアラレ音頭に合わせて踊る。



▲おどりの夕べ、町民総出で盆踊りに興じる。



▲芸能ショウを参観する観客



▲町民が一堂に会してまつりを楽しんだ。



▲子供エイサー、賑わう。



▲連日打ち上げ花火が夜空に舞い上った。
(RBC坂田ハイツから)



▲11月7日午後2時頃特設ステージで大宜味小太郎一行の芸能ショウが行われてた。この頃から徐々に観客も増えてきた。

国民年金は未加入者(20才以上の方)は早めに参加しましょう。

都市緑化コンクール 審査委員長賞に平良栄一さん 総合事務局長賞に又吉龍弘さん ワンパク子供会が団体表彰

「都市に緑と公園を」のもとに
「緑でつつむ健康な街」をサブテ
ーマに、県下全域の建物、門柱、
壁面などに植物を素材として修景
が施されている建物緑化などを競
う都市緑化コンクールがこのほど



▲オオイタビ(クワ科)の石垣壁面の緑化が認められ審査委員長賞に輝いた(平良栄一さんの門)。



▲オオイタビ、ネズミモチを植栽して壁面とフェンスに緑化をとり入れている(又吉龍弘さんの門)。



▲都市公園保全美化運動で団体表彰を受けた我謝のワンパク子供会

行われた。審査の結果、本町から
字我謝五八番地の平良栄一さんのオ
オイタビ(クワ科)の石垣壁面の緑化
が、みごと審査委員長賞に選ばれた。
この石垣は、戦前からのものであ
り、オオイタビは自然に自生した
ものである。平良さんは、十二年
前からオオイタビの手入れを二ヶ
月に一回の割合で行っている。
石垣の上には、クロトンやヤシ
の木が植栽され、植物の総合的な
配置、修景上の考慮もなされ、調
和のとれた美しい壁面として高く
評価された。

また、字幸地三二一九番地の
又吉龍弘さんの壁面とフェンスが
総合事務局長賞に選ばれた。又吉
さんの壁面とフェンスは、オオイ
タビとネズミモチを植栽して壁面
とフェンスに同時に修景が施され、
修景効果、創造性の点で評価され
た。

さらに昭和五十七年度沖繩都市
緑化及び都市公園保全美化運動に
おける功労者の表彰も同時に行わ
れ、字我謝のワンパク子供会がそ
の功労賞に輝いた。同会は、昭和
五十五年三月十八日から現在まで
毎月第一、第三日曜日に二十人程
度で我謝児童公園の草刈、清掃を
行ったことから今回の功労賞受賞
となった。

その表彰式は十月二十三日、沖
縄都市緑化(会場II与儀公園)で
行われ、それぞれの方々に賞状、
記念品、副賞などが贈られた。こ
のコンクールの主催は、沖縄総合
事務局、沖縄県、市町村、海洋博
覧会記念公園管理財団、沖縄県造
園建設業協会、琉球新報社。

いよいよ町史を発刊

題字を募集しています

昭和五十三年度より本格的に取
り組んでまいりました町史編纂事
業も、町民のみなさんの御協力に
より順調に進んでおります。町史
編纂事務局では、現在『西原町史』
第二巻資料編Iの発刊に向けて精
力的に作業を進めております。
昭和五十六年三月には、いよいよ
町民待望の『西原町史』が発刊
されるはこびとなりました。

題字募集要項

- つきましては、町民の方々から
町史の題字を公募したいと思いま
す。
- 一、題字は『西原町史』とする。
- 二、応募資格者は町内在住者に限る。
- 三、応募点数は一人一点に限る。
- 四、毛筆で書くこと。
- 五、字の大きさは自由。

町立幼稚園園児募集

- 一、入園資格
町内に居住する満五歳児。昭和
五十二年四月二日より五十三年四
月一日生れまで。保護者と同居す
る者。
- 二、募集日時
昭和五十七年十二月十五日(水)
- 三、通園区域
各小学校的通学区域と同じ。
- 四、入園申し込み
保護者は該当児の住民票持参の
うえ同伴で各区域の幼稚園で申し
込む。

国民健康保険税 納付月間 11月1日～30日

十一月一日から三十日までの期
間は、国民健康保険税の納付運動
月間の為未納の方は早目に納付し
て下さるようお願い致します。

城間カマさん カジマヤーを祝う 伊佐ツルさん

今年、町内でカジマヤー(数え
年九十七才)を迎えた方が二人い
る。字棚原二八三番地の城間カマ
さんと字与那城三〇九二番地の
伊佐ツルさんである。

城間さんのカジマヤー祝いは、
ご健康が勝れないことから身内だ
けで自宅十月二十三日に行った。
町からもその前日午前、宮平町
長が自宅を訪れ、記念品を贈ると
ともにカジマヤーを迎えられた喜
びとともに祝った。



城間 カマさん
棚原283
(2区)



伊佐ツルさん
与那城309-9
(9区)

渡嘉敷杯で西原中二年生 優勝、準優勝を分け合う

十月二十七日、嘉手納町の名嘉
病院コートで行われた第二十三回
渡嘉敷杯争奪中学軟式庭球大会
(ダブルス一組の個人戦)で本町
の西原中学校二年生の選手が、優
勝、準優勝に輝いた。県下の二百
二十組の精鋭が集ったの競技だけ
にこの栄冠は大変貴重なもの。し
かも、まだ二年生とあってこれか
らの活躍が期待されている。

▼決勝

花城	2	1	4
ひとみ	4	1	1
玉那覇	4	2	5
ゆかり	2	1	4
育新	2	1	4
礼泉	4	1	2
子川	2	1	4



歳末たすけあい運動

町社協では、心配ごと相談を毎週水曜日午後2～5時に行っています。

夜間の安全運転五ヶ条

昼、夜を問わず、運転に慎重さが求められることは言うまでもありませんが、特に夜間は次のような特徴があるため、より一層の心配りが必要です。

- ▽視界が極めて悪い。
- ▽昼間とスピード感覚が異なり、スピードを出しやすい。
- ▽飲食運転、過労運転や居眠り運転が多くなりがちで、また、歩行者の中にも酔って歩く人が多くなる。
- 夕暮れ時から夜間にかけての交通事故を防止するため、ドライバーの皆さんは次のような点に十分注意してください。

第1条 ライトは 早めにつけよう

薄暮の時間は、刻々とやみに向かって時を刻むので、わたしたちが「まだ明るいから」と感じる以上に、実際には、暗い場合が多いのです。ライトは早めにつけましょう。

第2条 スピードは昼間 より控えめに

夜間は「視覚情報」が極端に少ない

夜間は、視界が悪くなり、バックミラーやサイドミラーも見えにくくなります。運転に必要な視界からの情報量が、昼間に比べて極端に少なくなり、速度感覚が鈍化し、その結果スピードを出し過ぎることになります。この点について末永一男久留米大学名誉教授（生理学）は次のように話しています。

第3条 歩行者の横断に 十分な注意を

道路中央で一瞬消失する「蒸発現象」

目の良し悪しにかかわらず、人や物が見えなくなる蒸発現象が起るのも夜間の特徴です。この蒸発現象とは、自分の車と対向車のライトが交錯して、道路

第4条 居眠り運転防止 眠くなったら車を 止めて休みましょう

夜間の運転につきもののものが「居眠り運転」です。運転をしていて眠くなったら、まず車を止めて休みましょう。まだ大丈夫と思っ

第5条 見通しの悪い交 差点やカーブで は合図を

見通しの悪い交差点やカーブの手前では、ライトを点滅したり、上向きにして、自分の車の存在を、対向車や歩行者などに知らせま

年末調整

サラリーマンの給与について所得税は、毎月の給料とボーナスの支給のときに源泉徴収されることになってい

これを防止するには、対向車のあるときはライトを必ず下向きにすることがいちばん大切です。また横断中の人や自転車を見つけたら、より一層の注意を払う必要があり

金、石油などの 海外先物を利用した 悪質取引に御注意

海外商品取引所における金、石油、砂糖、大豆などの取引に一般委託者が巻き込まれ、悪質業者に大金をまき上げられるケースが増

海外商品取引所における金、石油、砂糖、大豆などの取引に一般委託者が巻き込まれ、悪質業者に大金をまき上げられるケースが増

健康づくりの食生活 野菜を 食べよう

健康な体を保つには、食事の栄養バランスに気を配る必要があります。

しかし、カロリーの取り過ぎによる肥満、偏食のための貧血が問題になるなど、みんながみんな、栄養バランスのとれた食事をしてい

毎回の食事で不足しやすいのは、野菜類ではないでしょうか。特に、ホウレンソウ、ニンジン、ピーマンなどの緑黄色野菜は、子供や若い人

野菜は大きく「緑黄色野菜」と、ダイコンやハクサイなどの「その他の野菜」とに分け



られますが、どちらにもわたしたちの体にはなくてはならない各種のビタミンやミネラル類が豊富に含まれてい

・ビタミン類

ビタミンA、C…皮膚や粘膜の健康を保つ。毛細血管や軟骨などを強くする。

・ミネラル類

鉄、カルシウム…血をつくる。歯や骨を強くする。

また、ゴボウ、セロリなど繊維質の野菜には「通じ」を良くする働きもあります。もっと野菜を食べましょう。

発生させる。などがあげられます。海外商品取引所の取引については、時々刻々変わる海外相場を認

西原東小学校（与那嶺浩校長、児童五百六人）にこのほど体育館が建設されることになり、十一月十二日午後三時から、町三役、町教育委員、校長、教頭、工事関係者など約三十五人が出席して地鎮

西原東小学校（与那嶺浩校長、児童五百六人）にこのほど体育館が建設されることになり、十一月十二日午後三時から、町三役、町教育委員、校長、教頭、工事関係者など約三十五人が出席して地鎮

氏名	住所	電話
平良清仁	兼久17	五二七二二
大城静子	小橋川46	五一八二五
糸数辰雄	翁長175-1	五一四五一

小 体育館の地鎮祭 行われる 校舎増築も はじまる

西原東小学校の体育館 建設の地鎮祭



また、同小の増築工事来年三月竣工を目ざして進められることとなり、体育館建設の地鎮祭とあわせてその安全祈願祭が行われた。総面積四三三平方メートル、総工費一億五九百五十万円。

夕暮れ時のライトは早めにつけましょう。

上原、小波津地内配水施設整備事業着々と進む

水の安定供給を目ざして八月五日から上原、棚原、翁長、小波津地内配水管施設整備事業が、総工費一億二千万円を投じて二十五日の完成を目度に進められている。第一工区が上原から小波津まで、第二工区が小波津地域。全長約五キロメートルに及ぶ。口径一〇〇ミリから一五〇ミリの配水管布設工事である。

今までの配水管は、復旧前に埋設されたもので老朽化し、それに加えて管の容量が小さく水圧低下を招いていた。今回の配水管の布設は、一定の容量を維持することにより小波津、小波津団地、下翁長の水圧不足の解消を図ろうと計画されたもの。総工費の半分は国庫補助である。



▲配水管の埋設工事 (小波津で)

玉城さん、中央公民館へ獅子像贈る

字翁長九〇三番地の玉城光雄さん



感謝状の贈呈式(左が玉城さん、中央公民館玄関前で)

ん(金物店経営)から中央公民館に自作彫刻の獅子像二頭が十月二十一日に贈られ、同館玄関前に雄壮な姿で据え付けられた。台座の赤レンガに白色のトラパーチンでつくられた獅子が映えていかにも獅子独自の重々しい感じがする。

獅子の大きさは、高さ一一〇センチ、奥行七〇センチ、巾五〇センチで重さが三百キログラムの堂々たるもの。玄関に向って左側が雌獅子、右側が雄獅子である。玉城さんは、この製作に当り、原形、型どりなどを経てできるまで約半年をかけた。

これに対し、十月二十七日午前十時に中央公民館玄関前で教育庁

西原の塔で町慰霊祭

助役、教育課長など関係者七名が見守る中、町長から玉城さんにその功績を讃えて感謝状が贈られた。贈呈式の後、しばらく懇談会もあり、玉城さんのこれまでの労をねぎらった。

また、台座の赤レンガタイル張りの工事は、字棚原七八一番地の三明タイル工業(城間三郎社長)の善意により無償で行われた。



▶町慰霊祭

町では、恒例の町慰霊祭が十月二十二日(第四金曜日)午後二時から西原の塔で関係者約二百五十人の参列をえて、しめやかに行われ、戦没

者七千余程の御霊の冥福を祈った。慰霊祭では、黙とう、読経、宮平町長による式辞、追悼のことは各種団体の代表者焼香、一般参列者の焼香などが次々と行われ、恒々平和の誓いを新たにされた。



▶慰霊祭を前にして清掃作業

スピードの出し過ぎは自殺行為



▲西原小学校の校内菊まつり、が11月12日から18日まで行われ、児童たちが手塩にかけた小菊が校庭に飾られた。



▲西原小学校2年生全員によるパンづくり教室(実地教育)が11月11日、中東公民館で行われた。

写真ニュース

中頭郡陸上、男子堂々三位

十月二十四日、沖縄市宮陸上競技場で行われた第十回中頭郡陸上競技大会で本町代表選手は、各種目に健闘し、男子団体は、堂々三位に輝いた。史上初の快挙である。

また、その日、中頭郡体育協会から石原祐哲先生(北谷町立浜川小学校教頭)がスポーツ功勞により表彰を受けた。

尚、大会の三位内入賞者と団体の成績は次の通り。種目の下の○内の数字は順位。

【一般男子の部】

四百米②城間利也52秒5、二〇キロ②大城浩一1時間16分53秒、百十米H②小波津英勝17秒4、棒高

【団体の部】

男子三位(54点)
女子六位(19・5点)

【三十代男子】
走高跳②安里勝正1m68
【女子】
百米②安里弘美13秒6、二百米②安里弘美28秒1(中頭郡新記録)

水道の日曜日、祝祭日の修理当番日程

期日	町給水指定店	電話
12月26日	嶺設備	五一四六三
12月19日	上里金物店	五一四六四
12月12日	与那嶺設備	五一五三〇
11月28日	勝工業	五一二〇七
11月23日	朝市設備	五一三二一
11月21日	広栄水道	五一四九三

▶今年も十月二十五日から町心身障害者(児)見舞金が支給された。

